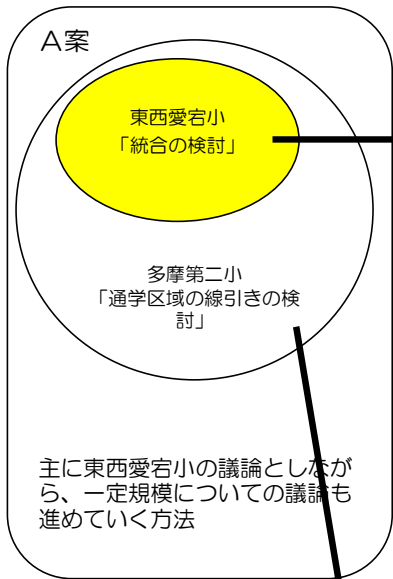


課題等の整理表

7月14日に審議された課題等の整理



<7月14日の意見から>

- 統合のメリット・デメリットを話し合う
- 段階をふまえた次の話し合いにいくべき
- 子どもの数の減少はとめられないのでどう子ども達にとって魅力ある学校づくりができるかだ
- 条件として考えねばならないところは、一緒にして2クラス取れるかどうか

東西愛宕小
「統合の検討」

東西愛宕小の特徴

- (1) 分校のような子どもの少なさ
- (2) 10人にも満たない教室がある
- (3) 教室の真中で子ども達がまとまって授業を受けられる
- (4) 切磋琢磨する場面が教育活動で出せるか
- (5) 人数が少ないことで制約がでる
- (6) あの状態が365日35週にわたり続く
- (7) 環境がいい
- (8) 自然が一杯
- (9) 少人数で、先生に目をかけてもらえる
- (10) のびのびしている
- (11) 地域と密着している

統合の検討課題

- (1) 単純統合であると生徒数が増えてクラスは増えない
- (2) 2つを1つの学校にしたときこの人数で2クラス作れたらいい
- (3) 単なる統合では適正規模にはならない
- (4) 東西は単純に統合するだけでは多クラスを確保できるか疑問
- (5) 登下校の道の安全面は地域やまわりの大人が考えるべき
- (6) 遊歩道ではなくバス通り・大通りとなるとランドセルを背負って結構な距離を歩くことになる
- (7) 東西愛宕小への遊歩道は寂しいと感じた
- (8) 東西を足しても30人くらいであり、1クラスのまま6年間過ごすのであればメリットはあるのか
- (9) 特別支援扱いの子と普通の子がやっていけるのか
- (10) 一定規模にならないければ統合する意味がわからない
- (11) 人数が増え一人の子どもに届く目が限られるので子どもがそれに対応できるか
- (12) 統合しても10年後また統合の話が出るのではないか
- (13) 数年先の問題の前に子ども達にとって今が問題である

魅力ある学校づくり

- (1) 運動会が華やかにできることクラス替えがあること
- (2) 統合して利点をアピールする(二小の保護者に対し)
- (3) 中学に希望・特色がなければ人は来ないし、小学校は違うところに行く
- (4) 荒川ではシニアの人が児童を送り届けている
- (5) メリットが多くなると統合自体が難しい
- (6) 統合ありとした上で子ども達に手厚い対応を
- (7) 40人いなくても2クラスになるような手厚さを
- (8) 特例がなければどうにもならない
- (9) 人的配慮は教育委員会に最大限配慮してもらう
- (10) 10人位程度子ども達を呼び込むセールスポイントが作れば
- (11) 学校ならではの発想で子どもや保護者に受け入れられる学校づくりを

多摩第二小
「通学区域
の線引きの
検討」

地域コミュニティ

- (1) 二小は地元の人が多い
- (2) 二小は歴史が古く三代に渡り通学していることもあるので人数だけで簡単に切るとは難しい
- (3) 地域コミュニティと歴史的背景からすると愛宕地区と二小地区は地域コミュニティとしての接点はほとんどない
- (4) 和田の人達の神社が愛宕神社であり愛宕の住所を持っている私達は神社からは離れている
- (5) 二小の通学区域に線が引かれたとしても統合新校に来ないと思うし長い年月をかけないと規模を増やすことは無理でないか
- (6) 山のところをニュータウンとして作ったのでここだけ(二小や三小と)違うコミュニティとなっている
- (7) 自治会には何十年入っても入れない。

選択制

- (1) 選択制により地域で子どもを見ることが難しくなっている
- (2) 東を使うとすると山の中を歩いてより同じ距離であれば大通りで人目の多い三小に行かせる意見が多い